



モチベーションの心理に関する研究

人文科学系・人間科学領域

竹橋 洋毅

准教授 TAKEHASHI Hiroki

博士(心理学)(名古屋大学)

■研究キーワード モチベーション, 自己制御, マインドセット, 社会的認知, 社会心理学, 教育心理学

■主な所属学会 the Society for Personality and Social Psychology, 日本社会心理学会, 日本教育心理学会, 日本心理学会

■研究者総覧 <https://koto10.nara-wu.ac.jp/profile/ja.fe4b4ca413fd16f4520e17560c007669.html>



研究者総覧

研究概要

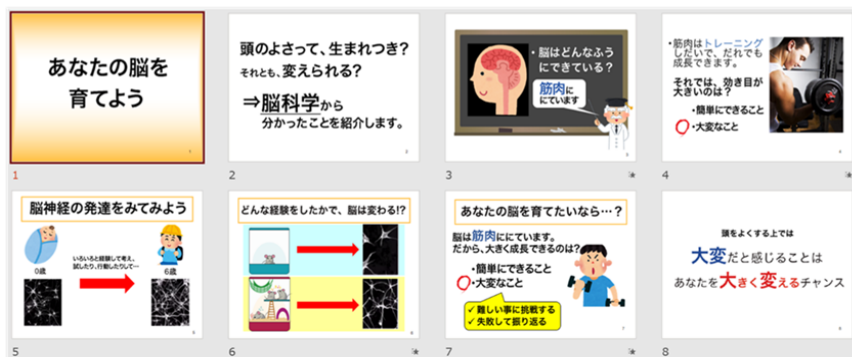
「モチベーション」の規定因とその影響について、社会的認知の立場からアプローチしています。社会的認知とは、状況のとらえ方(認知)やその背後にある信念が行動や感情を導く心のメカニズムを明らかにしようとする、社会心理学の一分野です。モチベーションに関する問題は教育に密接に関係しているため、学校現場と連携して、調査や教育実践などにも取り組んでいます。他に、行動啓発手法ナッジ、防災・防犯、ポジティブな強みや非認知能力、ストレスやウェルビーイング、システム正当化などについて研究をしています。

<主な研究関心>

1. 困難に負けずに、しなやかに対処する心理(成長マインドセットなど)
2. モチベーション理論に基づいた、支援や教育のあり方
3. ウェルビーイング(幸福)につながる、英知

図1 成長マインドセットを育成する授業

- ①教師から「**脳の性質**」を解説し、理解確認の質問をする(例:脳と筋肉はどんな点で似ている?)
- ②教師から「**努力で成長した人**」の事例を紹介し、生徒にも考えてもらってグループ内で意見共有
*紹介する事例には、懸命な努力、方略(工夫)、他者からの助け、の視点を含める。
- ③「**後輩への手紙**」というワークで、授業での学びを踏まえて、未来の後輩へのアドバイスを文章化する
留意点:考え方を強制せず、科学的・実用的な視点で伝える。努力がなぜ大事で、どうしたらよいかを伝える



アピールポイント

1. **成長マインドセット(growth mindset)**に関し、国内研究をリードしています。成長マインドセットはスタンフォード大学のキャロル・ドゥエック教授が提唱した概念で、困難への動機づけにおいて鍵となることが明らかにされています。しかし、日本ではほとんど研究が進んでいないのが現状です。私の研究室では、成長マインドセットが日本でも困難への動機づけ向上に有用であることを示すとともに、教育現場との共同研究を進めています。また、他のモチベーション心理学についても研究を進めています。

2. 社会的認知の理論・知見に基づき、**心のニュアンスを精緻に捉えた調査・実験**の設計を得意としています。人間行動を説明・予測する上では、個人や環境の客観的属性はそれほど有効ではなく、本人にとっての意味(社会的認知)が鍵となることが明らかにされています。この専門性を活かし、私の研究室ではマインドセット、グリット、動機づけの質などについての**心理尺度を開発**しています。社会的認知は、社会的行動や動機づけを考える上できわめて効果的なアプローチですし、世界的にも社会心理学の主要な一分野となっています。

3. 社会心理学(特に、社会的認知)や教育心理学(特に、動機づけ、学習方略)の**多くの研究者とつながり**、楽しく研究しています。研究は「開かれた知」ですから、学外の学会や研究会に参加したり、学術誌で論文を刊行することを大切にできたらいいなと思っています。外の世界とつながることは、研究の質を高めてくれますし、とても楽しいことでもあります。このような研究活動に興味がある方は、一緒に楽しい時間を過ごしましょう!